

やまなし



2012.10.1
vol.10

no. 1

contents

- 2 目にみえない生き物たちが教えてくれること
- 4 利用者の声
- 5 学生にすすめる本
- 6 図書館統計
- 7 図書館トピックス
 - テーマ展示 「もしもの時に」開催中 [本館]
 - 情報検索コーナー移設リニューアル [医学分館]
 - オープンキャンパスを開催 [本館]・[医学分館]
- 8 今後のイベント紹介
 - 連続講座 「子どもと本を結ぶ」のご案内 [本館]
 - 講演会 「生と死のコーナー」関連行事のご案内 [医学分館]

The Yamanashi
Bulletin of the University of Yamanashi Library

目に見えない生き物たちが教えてくれること

ハヤカワ マサユキ

生命環境学部長 早川 正幸

地球は「生命を宿す星」ということができます。そこでは微生物から人類に至るきわめて多様な生物の命が育まれています。それぞれの生物は互いに連携し合い、絶妙なバランスをとりながら地球生態系を形作っています。ところが社会の繁栄を目的とした人類の生産活動が大きくなるにつれ生態系とそれをとりまく環境は傷つき、今や大地から、そして海原から痛切な悲鳴が聞こえてきています。

私どもの生命環境学部は“自然との共生可能な豊かな地域社会の創生”を基本理念に掲げ、この4月に発足しました。自然科学を基盤とした「生命工学科」，「地域食物科学科」，「環境科学科」，そして人文・社会科学が基盤の「地域社会システム学科」より成っています。四つの学科はお互いに協力しつつ生命・食・環境・経営にかかわる文理融合の教育を展開し、環境問題など現代社会が抱える多元的な課題の解決に果敢に挑むことができる人材を育成していきます。

生命環境学部の研究分野は自然科学から社会科学まで多岐にわたります。基幹となる研究に微生物多様性の解明と保全，有用微生物の探索と産業への利用があります。

生物分類学上の基本単位を種と呼びます。生物は種の上の分類階級である属名と種名（正確には種形容詞語）を組み合わせて命名されています。現在，地球上には175万種の生物が知られています。このうち，目に見えない微小な生物，すなわち微生物は17万種に及びます。微生物は生態系において有機物などの分解者として働

き，地球上の物質循環に深く関与しています。顕微鏡下で見る微生物の形態は「地球博物学大図鑑」（東京書籍，2012年），「微生物の世界」（筑波出版会，2006年）に掲載されています。形態の多様性も微生物の特徴で，地球上での役割と関連し様々に分化した形態を見ることができます。読者は神秘的ともいべきミクロの世界に思わず引き込まれていくことでしょう。

私の研究室では放線菌という微生物の研究をしています。放線菌はこれまで2千種が報告されています。主として土の中に生息し，高分子有機物の分解などを通して自然界の物質循環に寄与しています。落葉や木片組織の中にしっかりと入りこんで，分解者としての役割が果たせるよう，放線菌の多くは菌糸状に生育します。放線菌の形態は



「放線菌図鑑」（朝倉書店，1997年）で見ることができます。放線菌は一方で，抗生物質，抗がん剤，免疫抑制剤，酵素などの生理活性物質を生産する重要な工業微生物です。例えば人類を結核の脅威から救った抗生物質・ストレプトマイシンは放線菌がつくります。放線菌の一株一株を自然界から純粋なかたちで取り出し（分離と言います），種を決め，その機能，例えば高分子の分解活性や抗生物質の生産能を調べていきます。

私たちは平成19年から21年にかけて，沖縄県



西表島（面積289km²）の畑や森林の表層土から数百株の放線菌を分離し、研究を行いました。分離株について電子顕微鏡などで形態を観察するとともに、リボソームRNA遺伝子の全塩基配列を調べることにより種の簡易同定を行ったところ、240種（既知の放線菌2千種の12%）もの生息が観察されました。さらに驚くことに、既知種以外に未知の種が89種も見出されました。なお、同時に調べた北海道利尻島では75種の未知種が分離され、両島間の種の重複はごく一部でしかみられませんでした。

さて、ここで計算をしてみます。地球の陸地面積は148,890,000 km²で、西表島の約50万倍です。単純計算で地球全体の陸地には89種×50万＝4千5百万種の未知放線菌が生息していると推定できます。放線菌の既知種は前述のように2千種ですから、地球上には既知の放線菌種の約2万3千倍（4千5百万種÷2千種＝2万3千）もの未知放線菌が生息していることとなります。ちなみに現在知られている全ての微生物種は17万種ですからその2万3千倍、すなわち地球上の未知微生物の種数はざっと39億種と見積もることができます。ただし、この推定には土の深度による微生物種の相違、地域ごとの種の重複、また陸地以外の種の分布（海洋にも多様な微生物が生息）は考慮に入れてありません。何はともあれ、地球上には私たちの想像をはるかに超えた、多様な微生物が生息していることは間違いありません。

「微生物の世界」の编者である宮道慎二さんは、生命進化の歴史を1年間のカレンダーに圧縮して表現しています。すると、生命の進化は原始細胞（微生物）から始まり、肉眼で個体を識別できる多細胞性の真核生物が誕生したのは10月末。そして現代人が誕生したのは大晦日の夜中11時半です。人類は生命史からみれば極めて短時間のうちに生活圏を拡大し、その数を爆発

的に増やしてきたこととなります。これに対し、生命史の8割以上は微生物の時代です。微生物が生物の進化と地球環境形成に果たしてきた役割、さらに生態系の一員としてこれからの地球を担う役割の大きさは計り知れないものがあります。微生物は悠久の歴史の中で生物の進化を支え、それにより多様な生物による生態的平衡が成り立ってきているのです。この長い生命進化により生み出された、絶妙だがそれだけに崩れやすい生態系の頂点に人類は位置していることを忘れてはなりません。

現在の地球上では一日に100種もの生物種が絶滅しているという説があります。もちろん実験データに基づいた推定ではないようですが、地球温暖化も含め環境破壊がこのまま進めば、気が遠くなるほど長い生命進化の歴史の上に構築されてきた生態系が、瞬時に足元から崩れ去るであろうことは誰もが想像に難くないところです。一度壊れた生態的平衡は決してもとには戻りません。今、全人類が英知を結集し、環境保全と環境に調和した持続社会の構築に真摯に取り組むべき時が来ています。時計の針を午前零時で止めるわけにはいきません。

紹介された本

	<p>「地球生物学大図鑑」 東京書籍 2012 本館2F 新刊書架 配架予定</p>
	<p>「微生物の世界」 筑波出版会 2006 本館2F 一般書架 465</p>
	<p>「放線菌図鑑」 朝倉書店 1997 本館2F 一般書架 474.7</p>



居心地のいい場所

タナカ
医学部 看護学科 2年 田中 まり

私にとって図書館とは、一言で言うのであれば居心地の良い場所である。学校生活を送る中で小学校、中学校、高校と全て図書館にお世話になっている。そして、これからも関わり深い場所となり続けるだろう。

私は現在、医学分館の一階カウンターで週に二回、お手伝いをさせてもらっている。友達から紹介されたこの仕事だが図書館につくづく縁があるなあと思い、楽しく業務を行っている。思い返せば、高校では図書館の会計として関わっていたため、学校の中で一番通う場所であった。それは、今も変わらない。

しかし、大学に来て図書館の存在は私の中で少しずつ変化している。今までのように居心地の良さは変わらずに、そこにいくつか加わったと思ってもらえれば良い。図書館に来る人は誰

しもが学びを求めてやってくる。前から知っていた人、図書館で知り得た人からその学びを少し分けてもらえる環境が私には見えた。つまり、私に学びを深める後押しをしてくれると共に新たな人間関係をもたらしてくれる。もし、このままずっと図書館に関わっていけるのであれば、私は何らかの形で自分を成長させていけるだろう。最近、そんなことを考えながら、図書館という居心地が良い場所を一層、好きになっている。

今まで図書館に余り足を踏み入れていない人！！一歩、図書館に入って一冊本を借りてその場所で読むことで、居ることで何か変わると思う。図書館を好きになって下さい！！

[医学分館]

図書館の勧め

大学院医学工学総合教育部
コンピュータ・メディア工学専攻 2年 ゴトウ ケイタ
後藤 啓太

今回、「利用者の声を書いてもらえないか」とお話をもらい、喜んで了承しました。それは、普段お世話になっている職員さんの頼みであるからと同時に、私の文章を通じて、今まで附属図書館を利用していない人が、これを機に利用してくれたらと、思ったからです。

附属図書館には、県立や市立の図書館に勝る魅力があり、山梨大学に通っていて附属図書館を利用しないのは、損をしていると、私は思います。

まず、附属図書館には、専門書が多く置かれていることが、魅力です。工学部があることで、個人では手を出しにくい専門書がおいてあるのは、非常に助かります。専門書というのは、一般の書籍に比べ高価です。しかし、閲覧したいのは、課題や研究の時だけであることが、ほとんどです。そんなときに、同じジャンルでも、書籍の種類が豊富にあるというのは、非常に役立ちます。

次に、勉強をする学生にとって、附属図書館

は、魅力的です。近くで、静かで、専門書があるのは、非常に便利です。実際、夜間利用する学生も多くいます。分からないことを調べられる書籍があり、1つ1つ区切られた机もあるため、勉強に集中できます。

最後に、学生のリクエストに応じて、書籍を購入してもらえることも、魅力の一つです。

私も何度かリクエストしたことがあります。が、とても助かりました。自分では購入できないけど、読んでみたい書籍があったら、リクエストしてみると良いかもしれません。リクエストした書籍を一番に貸し出してもらえるのも、魅力ですね。

附属図書館には、こんな魅力があります。なので、もっと多くの方に利用してもらえると嬉しいです。ただ、私の仕事も増えるのが難点ですが。(笑)

[本館]



● 臨床の知とは何か

中村 雄二郎 著 岩波書店

本館2階 文庫新書書架

492.04

医学分館 生と死のコーナー

104



著者は医学者ではなく哲学者です。著者が述べる「臨床の知」とは、狭い意味での医学的な臨床の知ではありません。「近代科学への反省のもとに、それが見落とし排除してきた諸側面を生かした知のあり方」を指すものです。すなわち著者は、「近代科学ほど、人類の運命を大きく変えた人間の所産はほかに例がない。あまりにつよい説得力をもち、この二、三百年來文句なしに人間の役に立ってきたために、私たち人間は逆に、ほとんどそれを通さずにく現実>を見ることができなくなってしまったのである」と述べ、近代科学の大きな成果の陰に見失ったリアリティーが存在する、と警鐘を鳴らしているのです。

もう少しだけ本書のエッセンスに踏み込んでみましょう。近代科学が人類の圧倒的信頼を勝ち得た理由を著者は、普遍性・論理性・客観性という3つ

の性質で説明し、これらが排除してきたものは何か、という問いを發します。それに答えるかたちで、3者それぞれの対抗軸となる原理、コスモロジー（具体的な意味のある固有世界）、シンボリズム（事物の多義性）、パフォーマンス（相互性・身体性をそなえた行為）を挙げます。そしてそれらをあわせて体現しうるのが「臨床の知」とであると説きます。

本書は1992年の刊行ですが、その論考は色褪せるどころか、大震災・原発事故後に近代科学に裏打ちされた自然観・世界観が問い直されている今こそ、凄みを持って迫ってきます。医療者、研究者、教育者など、いずれの道に進む学生にも、深い示唆を与える一冊として、本書を推薦いたします。

ヌノムラ アキヒコ

医学部 精神神経医学講座 布村 明彦

● 危機の宰相

沢木耕太郎 著 編 文藝春秋（文春文庫）

本館2階 新刊書架

312.1



本書は、バックパッカーのバイブルと目される紀行文学『深夜特急』で知られる沢木耕太郎氏が、その出世作となった『テロルの決算』と同じ1960年という時代をテーマに描いたノンフィクションである。

『テロルの決算』の主人公が社会党委員長・浅沼稲次郎と彼を刺殺した少年・山口二矢の2人であるのに対し、本書のそれは内閣総理大臣・池田勇人、エコノミスト・下村治、宏池会（池田派）事務局長・田村敏雄の3人である。沢木氏は問う。大蔵官僚でありながらも闘病や抑留・公職追放によって一度は人生の「ルーザー<敗者>」となったこの3人が、いかにして巡り会い、国民の大多数を「『経済成長』という国民的信仰」に導いた戦後最大のキャッチフレーズ「所得倍増」を生み出すことになったのか、と。この疑問に答えるべく氏は、「表現においてある徹底性を持った方法によって描かれたノンフィクション」

と位置づけるニュージャーナリズムの方法論に強い影響を受けながら、関係者の証言と多数の資料を突き合わせて物語を紡ぎ出していく。

池田とそのブレーンたちが構想し当初は絵空事と冷笑された「所得倍増」が、岸信介政権下の政治の季節に飽いた時代の空気を捉え、高度経済成長を支えた国民のエネルギーを見事に引き出しつづけていくさまは、政治や政治家が果たしうる役割・可能性について、さまざまなメッセージを私たちに投げかけてくれる。

本書は、良質な文学作品であるだけでなく、日本政治の格好の入門書でもある。政治に関心がある方はもとより、政治を身近に感じられない方にもぜひ、一読をお勧めしたい。

フジハラ マサフミ

生命環境学部 地域社会システム学科 藤原 真史

図書館統計(平成23年度)



(1) 開館日数・入館者数

区分	開館日数	入館者数(人)		
		学内者	学外者	合計
本館	261日	113,953	2,741	116,694
分館	283日	147,907	377	148,284

(2) 館外貸出冊数・参考調査取扱件数

区分	館外貸出冊数(冊)				参考調査 件数
	学生	教職員	学外者	合計	
本館	28,912	2,606	1,239	32,757	2,863
分館	14,932	2,108	360	17,400	3,406

(3) 相互利用

区分	貸借(単位:冊)		文献複写(単位:件)	
	貸出	借受	受付	依頼
本館	229	375	1,659	2,074
分館	65	64	2,442	3,676
合計	294	439	4,101	5,750

(4) 子ども図書室

開館日数	116日
入室者数	1,283人
貸出券発行人数	87人
蔵書冊数	3,965冊
貸出冊数	1,638冊

2 図書館蔵書統計

(1) 図書・雑誌蔵書数 (H24.3.31現在)

区分	図書(単位:冊)			雑誌(単位:種)		
	和図書	洋図書	合計	和雑誌	洋雑誌	合計
本館	386,159	137,976	524,135	7,393	2,478	9,871
分館	48,900	42,577	91,477	2,132	1,332	3,464
合計	435,059	180,553	615,612	9,525	3,810	13,335

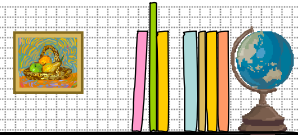
(2) 図書・雑誌受入数 (H23年度)

区分	図書(単位:冊)			雑誌(単位:種)		
	和図書	洋図書	合計	和雑誌	洋雑誌	合計
本館	6,150	860	7,010	2,452	199	2,651
分館	2,444	421	2,865	533	113	646
合計	8,594	1,281	9,875	2,985	312	3,297

3 電子ジャーナル統計

電子ジャーナル(2011/1~2011/12) fulltext ダウンロード件数

Science Direct	104,191	Science	3,973
Nature Group	14,661	Oxford University Press	3,963



テーマ展示「もしもの時に」開催中 [本館]

本館では、利用者の方々に新しい趣味分野に興味をもって頂けるよう、1つのテーマを選定し、関連した図書を展示、貸出をする「テーマ展示」を定期的に開催しています。

現在は、「もしもの時に - 使える本, 集めました。 - 」を展示中です。自然災害、火災、盗難、インターネット詐欺など、世の中には様々なトラブルが待ち受けています。イザという時に自分自身で身を守るため、これを機会にぜひご利用ください。

次回は、「和の暮らし」をテーマにした展示を開催予定です。



情報検索コーナー移設リニューアル [医学分館]

医学分館では、階段下で手狭であった情報検索コーナーを、昨年度書架を入れ替えたカレント雑誌コーナーの反対壁側に移設しました。机といすも入れ替え、広いスペースで集中してパソコンの利用が可能になりました。同時期に教育研究情報システムのシステム更新があり、パソコンの利用環境が格段と向上し、毎日多くの利用者が利用しています。また、中央には、組み合わせ変更可能な可動式机やゆったりとしたソファを配置しました。

どうぞご利用ください。



山梨大学オープンキャンパス開催 [本館]・[医学分館]



山梨大学オープンキャンパスが開催され、プログラムの一つであるキャンパスツアーで、山梨県内や近隣県等の高校生・保護者や受験希望者が本館（8月4日・5日）及び医学分館（8月4日）を見学し、大学図書館の雰囲気を感じられました。

★★ ★連続講座 平成24年度山梨県・山梨大学連携事業 「子どもと本を結ぶ・連続講座」(全5回)のご案内

子ども図書室では、山梨県と山梨大学の連携事業の一環として、山梨県立図書館と山梨大学の共同企画により、「子どもと本を結ぶ・連続講座」(全5回)を開催しています。子どもと本・読書に関わる諸テーマで講演・ワークショップを行っています。参加申し込みは毎回必要となっています。

第4回 子どもの本専門出版社(株)フレーベル館の編集者をお招きし講演予定

日時: 平成24年12月13日(木) 午後2時~(終了予定4時)

場所: 山梨県立図書館

第5回 教育人間科学部幼小発達教育コース 加藤繁美教授の講演を予定

日時: 平成25年2月14日(木) 午後2時~(予定)

場所: 山梨県立図書館



●お申し込み・お問い合わせ

山梨県立図書館サービス課 子ども読書推進担当

〒400-0024 甲府市北口二丁目8-1

TEL 055-255-1040(代) FAX 055-255-1042

主催: 山梨県立図書館・山梨大学附属図書館子ども図書室

★★ ★講演会 山梨大学附属図書館 医学分館 「生と死のコーナー」関連行事のご案内

医学分館では、平成24年度「生と死のコーナー」関連行事として、東京大学大学院特任教授の清水哲郎先生を講師にお招きし、講演会を開催します。医療・介護従事者の方々との対話を踏まえ、哲学の視点で医療現場の諸問題について講演していただきます。医療関係者の方、一般の方問わず、関心のある方は是非、ご参加ください。

生物学的生命と物語られるいのち —医療現場の意思決定プロセスをめぐって

講師: 清水 哲郎先生

(東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター特任教授)

日時: 平成24年11月15日(木) 午後6時~7時30分

場所: 山梨大学 医学部キャンパス 臨床講義棟 大講義室



◆イベント詳細については、ポスター・パンフレット・山梨大学附属図書館ホームページ等でお知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしています。

学外の方への利用案内

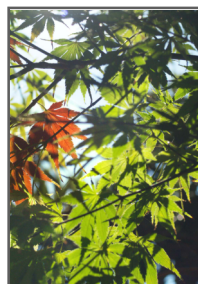


本館及び医学分館は、山梨大学以外の大学生、一般の方々も利用できます。詳細は下記まで

図書館HP <http://lib.yamanashi.ac.jp/>

本館 TEL 055-220-8066 (情報サービスグループ)

医学分館 TEL 055-273-9357 (医学情報グループ)



●表紙撮影: 図書・情報課 職員
場 所: 山梨大学 (甲府キャンパス)

山梨大学附属図書館報 「やまなし」 第10巻第1号

2012年10月1日 発行

編集: 館報編集委員会

発行: 山梨大学附属図書館

〒400-8510

甲府市武田四丁目4-37

TEL 055-220-8063